

＝京都民医連あすかい病院エリア＝ <2024 総選挙アピール>

いのちが大切にされる社会へ 一人ひとりの行動で政治を変えよう！

2024年10月12日

京都民医連あすかい病院 常務会

全職員のみなさん

医療機関、介護事業所の経営状況は、かつてない困難に直面しています。長引いたコロナの影響で医療・介護現場は疲弊し、異常な物価高騰の進行もあり、医療・介護経営の基盤は揺らぎ、医療崩壊・介護崩壊といえる状況が生まれています。

医療機関の倒産件数は、2024年8月末時点で46件と、前年の年間件数（41件）をすでに上回っています。

介護事業者の倒産件数は、2024年上半年（1～6月）に81件と、介護保険法が施行された2000年以降で最多を更新しています。業種別の倒産件数は、訪問介護が40件、デイサービスなど通所・短期入所介護事業が25件、有料老人ホームが9件と、いずれも前年同期を上回っています。

今の政治が続けば、必要な時に必要な医療・介護サービスが受けられない、地域から病院や介護事業所がなくなってしまいます。

石破首相は、国会を9日に解散し、15日公示・27日投開票で総選挙することを決めました。これは裏金事件や統一協会と自民党との癒着の徹底解明、能登の地震・豪雨災害への補正予算など、重要な国会審議にフタをするものです。

今回の選挙は、今まで以上に「大企業・大金持ち優遇、軍備拡大・戦争する国づくりの推進」か、「社会保障、医療・介護の充実・いのちが大切にされる社会への転換」かが問われる大切な選挙です。

棄権は現政権を容認したことになってしまいます。必ず投票して意思表示しましょう。

全職員のみなさん

元日に発災した巨大地震からの復旧・復興途上の奥能登全域に、9月21日未明から線状降水帯による豪雨が襲い、多数の河川氾濫・土砂崩れが発生しました。「地震よりひどい」「なぜ能登ばかり」「もう心が折れた」など、能登住民から悲痛な叫びが聴かれます。緊急の支援要請に答え、あすかい病院から4人が支援行動に参加しました。

国には、早急な復興支援に取り組む責任があるのではないのでしょうか。

全職員のみなさん

10月11日、被爆者団体の全国組織「日本原水爆被害者団体協議会（被団協）」が2024年のノーベル平和賞を受賞しました。被爆者の方々の「（被爆地の）あの光景が忘れられない」「世界から核兵器がなくならなければ（受賞は）喜べない」という言葉が胸につきさります。核兵器は人類の生存を否定するものであり、被爆国である日本は核兵器禁止条約に直ちに批准し核兵器廃絶運動の先頭に立つべきではないのでしょうか。

一人ひとりの行動で政治は変えられます。平和・いのちが大切にされる社会、安心してかかれる医療・介護めざして行動しましょう。

以上